

(仮称) 別海町生涯学習センター
建設基本構想 (答申)

平成 26 年 4 月

(仮称) 別海町生涯学習センター建設基本構想策定委員会

平成 25 年 12 月 5 日に教育委員長から、(仮称) 別海町生涯学習センターを建設するにあたっての基本構想策定の諮問があり、まずは教育委員会が作成した基本計画について説明を受け、委員それぞれの意見を聞きました。何分にも建設年度、建設補助が決まっておらず町民のアンケート調査結果の資料と別海市街地の集会施設の利用状況の資料を提出願い、どのような施設にするか、また、近隣の施設の視察をして、わが町に重ねて見ることを目的に実施しました。

委員会 7 回の内 2 回は、町外の文化施設の視察をし、説明を受けました。各委員の受け止め方に多少の差はあるものの、全体的には別海町らしい施設を作りたい、大きなイベントは隣の中標津町文化会館等でもいいのではという意見が大勢でした。

委員の皆さん方の意識の中に東部、中央、西部と 3 拠点市街地を形成している本町の特殊性があり、中央だから全町を包含する施設を作ることには否定的でした。これから先人口減と高齢化は避けられないという見方がある中で、本町では出生率が上向いています。この将来ある子供たち、そして町民たちがつどい、ふれあい、つながり、まなびあえる(仮称)生涯学習センターが建設され、活力ある人づくり町づくりの交流連携拠点になるよう要望します。現公民館は危険建築物といわれながら使われている状況は 1 日も早く解消して頂きますよう要望し、答申といたします。

この度の基本構想策定委員会では、施設見学を始め、委員各位の知見を結集出来たと思います。町内各地区と連携していくことは勿論ですが、根室管内の諸団体とも協調し、それぞれの役割を果たすことを目指していくために、今回の策定委員を実施計画策定に是非加えて頂きますよう申し添えます。

平成 26 年 4 月

(仮称) 別海町生涯学習センター建設基本構想策定委員会

委員長 島 崎 裕

目次

1. 建設計画の背景と基本構想の位置づけ	1
1-1. 建設計画の背景	1
1-2. 上位計画等	1
(1) 教育基本法	
(2) 別海町民憲章	
(3) 別海町第6次総合計画（ともにつくるべつかい創造プラン）	
(4) 第3次別海町社会教育中期振興計画	
2. (仮称)生涯学習センター建設基本構想	3
2-1. 建設の基本的な考え	3
(1) 建設の目的	
(2) 基本理念	
(3) 施設規模	
(4) 導入する施設の中核的部門	
(5) 既存施設の活用	
2-2. 建設候補地の検討	4
2-3. 主な施設の機能と仕様	4
(1) 文化ホール部門	
(2) 公民館（学習）部門	
(3) 共用部門	
(4) 子育て支援部門	
(5) 防災部門	
2-4. 多機能複合施設化の検討	6
(1) 図書館部門	
(2) 社会福祉施設部門	
(3) 観光案内部門	
2-5. 配慮すべき事項	7
2-6. 実現化に向けて	8
3. 参考資料	10
3-1. 町民アンケートの結果	11
3-2. (仮称)別海町生涯学習センター建設基本構想策定委員会	30
(1) 設置要綱	
(2) 委員名簿	
(3) 委員会の経過	

1. 建設計画の背景と基本構想の位置づけ

1-1 建設計画の背景

昭和 46 年 10 月に建設された中央公民館は、建築後 45 年近くたち、平成 5 年の釧路沖地震、平成 6 年の北海道東方沖地震により、床・外壁のひび割れや雨漏りをするなど、老朽化と相まって耐震基準を満たさない危険な建物となっています。

また音響や照明設備、ステージのスペースなどは、演劇やコンサートといった町民の芸術・文化を高める質の高い公演の開催には適さない施設になっています。

このため各種文化団体をはじめ、多くの町民から、中央公民館の早急な建て替えへの要望が高まっています。また、本町の総合計画に掲げられている生涯学習の町づくりを今後も推進していくためにも、建て替えは急務となっています。

1-2 上位計画等

(仮称) 別海町生涯学習センター（以下「学習センター」と略す）建設計画は、以下の法令や上位・関連計画に位置づけられます。

(1) 教育基本法

平成 18 年度に改正された教育基本法には、「生涯学習の理念」として、次の条項が新設されました。

「第 3 条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」

(2) 別海町民憲章

昭和 43 年に制定された別海町民憲章には、次の一文が掲げられています。

「教養を高め、美しい文化の町をつくりましょう。」

（３）別海町第6次総合計画（ともにつくるべつかい創造プラン）

別海町第6次総合計画（平成21年度～平成30年度）では、基本目標のひとつとして、次のことが掲げられています。

「人を育てる学びのまち～ 人を育み 文化を創る 心豊かなまちづくり
～次代を担う人材を育成し、だれもがともに学び、別海町らしい生涯学習の
まちづくりを進めます。」

そのための具体的な施策として、「老朽化した中央公民館（生涯学習センター）の建替えの検討」が挙げられ、平成30年度までに建設することが目標として掲げられています。

（４）第3次別海町社会教育中期振興計画

第3次別海町社会教育中期振興計画（平成21年度～平成30年度）では、社会教育推進目標を「自らを高め学びあい、協働に創る希望のふるさと別海」と定めています。

学習センターの建設については、中央公民館の推進目標として、「町民のニーズに応える生涯学習センターを建設します。」と定められ、平成29～30年度の建設が目標とされています。

その他、学習センターの建設に関わって本計画に記されていることは以下のとおりです。

- 文化ホールを現代の利用ニーズに合わせる。
- 各種行事やサークル活動施設を設置
- 財政事情を勘案しながら極力最低限の施設として建設経費を抑える。
- 学習センター建設を視野に入れ、町民と協働した公民館運営を目指す。
- 生涯学習課・郷土資料館・少年会館〔子育て支援（すくすく・はみんぐ）〕・ボランティア活動拠点などが入居できる「総合施設」としての機能をもつ施設

2. (仮称) 生涯学習センター建設基本構想

2-1. 建設の基本的な考え

(1) 建設の目的

本町生涯学習の中核的な活動拠点である中央公民館が老朽化し、今後使用していくことが危ぶまれています。別海町らしい生涯学習のまちづくりを途切れることなく推進していくため、できるだけ速やかに現在の中央公民館に替わる学習センターを建設する必要があります。

(2) 基本理念

この目的を実現するため、また上位計画等における建設計画の位置づけを踏まえ、学習センター建設の基本理念を次のように定めます。

「つどい、ふれあい、つながり、まなびあい
～人づくり町づくりの交流連携拠点～」

幅広い年代の町民が気軽に「つどい」、「ふれあい」、「つながり」、「まなびあい」ことで、「活動づくり」、「仲間づくり」、「にぎわいづくり」、「支えあいづくり」が展開される「交流と連携の拠点」施設を作ることにより、心豊かで潤いのある生涯学習の町づくりの実現を目指します。

(3) 施設規模

市街地が海岸部・中央部・西部の3地区に分散している本町の特性や、町の厳しい財政状況、将来人口(2040年に12,131人)も踏まえた適切な規模とします。主となる利用対象住民は、別海市街地を中心とする現中央公民館管轄内の町民としますが、全町的な各種催しが行える規模の多目的ホールを備えることとします。

(4) 導入する施設の中核的部門

学習センターに導入する中核的部門は次のとおりとします。

- 文化ホール部門

- ・町民が学んだ成果を発表でき、質の高い芸術に触れられる機能を備える。

- 公民館（学習）部門

- ・町民が教養を高め、自己実現のため学びあえる機能を備える。

- 付帯部門

- ・様々な目的をもった幅広い年齢層の町民が気軽につどい、ふれあえる機能を備える。

- 子育て支援部門

- ・乳幼児がおもいきり遊べるスペースを有するとともに、子育て学習や情報交換の場としての機能を備える。

- 防災部門

- ・災害時の避難所としての機能を備える。

（５）既存施設の活用

既存施設を活用することで、新設する学習センターの規模・建設費を抑えることができるため、可能な限り活用することとします。

とりわけ交流館ぷらととマルチメディア館は、学習センターの機能の一部として、再整備・再活用することが望ましいと考えます。

２－２．建設候補地の検討

町民アンケートの結果からも明らかなとおり、今後の超高齢化社会時代の到来を考えると、建設場所は高齢者が徒歩で行ける中心市街地が最も望ましいと思われます。また、現在市街地の空洞化が進んでいることから、中心市街地に建設することで、賑わいの拡大が図られ、中心市街地の活性化にも大きく寄与すると考えられます。

中心市街地のうち、建設候補地となりうるのは、ぷらと周辺の旧駅前広場と、旧病院跡地です。

ぷらとやマルチメディア館など既存施設を整備活用するのであれば、ぷらと周辺が最も建設場所に適していると考えます。次点の候補地として、病院跡地周辺を挙げておきます。

２－３．主な施設の機能と仕様

本節では導入部門ごとに、想定される主な機能と大まかな仕様について述べることにします。

(1) 文化ホール部門

- ・ 多目的町民大ホールを備える。小・中・高合同音楽祭時の入場者数が 500 人であることを勘案し、収容人員は 500 人程度とする。
- ・ 客席を固定席にした場合ホールの用途が狭まり、結果的に稼働率が下がることから、客席は可動席とし、多目的に利用できる仕様とする。
- ・ 大規模な演劇やコンサートの上演が可能な中標津町総合文化会館が近隣にあることから、ステージの規模と機能は清里町生涯学習総合センターの多目的ホールステージ (255.9 m²) を上限とし、建設維持費用のかさむ過度な舞台装置などは極力設置しないこととする。
- ・ 町民が行う音楽発表等はしっかりとでき、ホールができたことによって町民の音楽活動が盛り上がっていきけるよう、設計時に専門家の意見を取り入れて音響に十分配慮した造りにする。
- ・ 災害時に避難住民が寝泊りできる場所として使われることを想定した作りとする。
- ・ マルチメディア館の多目的ホールを整備活用する。講演会や小規模の発表会に利用することを想定している。

(2) 公民館（学習）部門

- ・ 研修・会議スペースは、小グループでの集まりが今後多くなることも想定して、できるだけ多くあることが望ましい。
- ・ マルチメディア館やぷらとなど、既存施設で活用できる部屋は、できるだけ整備活用することとする。
- ・ ダンス、バレエといった舞台舞踊の練習など、時代の移り変わりに応じた住民ニーズの多様な変化に対応できる、多目的で自由度の高いスペースを設ける。
- ・ 町民のニーズに応じて、音楽室、調理実習室など、専門的な学習が可能なスペースを設ける。

(3) 共用部門

- ・ エントランス、ロビーは広く、明るい設計とする。
- ・ ロビーコンサートや展示会など、学習の成果を気軽に発表できる機能を備える。
- ・ 特に用事がなくても町民が「つどい、ふれあう」ことで「つながり」ができる仕掛けを備える。
- ・ 自由に読める新聞、雑誌、観光パンフレットなどを常設し、滞留機能を持たせる。

- ・ 酪農家などは仕事の関係から指定された時間に迎えに行くことが難しいため、郡部から通学する高校生、各種少年団に参加する子供達が保護者の迎えを待つ場所とする。

（４）子育て支援部門

- ・ 乳幼児を対象とした室内の遊び場を設置し、地元木材で作ったおもちゃや各種遊具を備える。
- ・ 公民館の主催事業である「乳幼児母親家庭教育学級(すくすく)」での利用を想定し、乳幼児と保護者が一緒に安心して遊べる場所とする。
- ・ イベント時には、一時的な預かり保育の場所としての機能も備える。
- ・ おもちゃを介した世代間交流の場としても活用できるほか、図書館が併設できれば、絵本の読み聞かせなどの事業とも効果の高い連携が可能である。

（５）防災部門

- ・ 災害時の避難所として、十分な機能を備える。

２－４．多機能複合施設化の検討

本町は各種施設が分散して建設されているため、利便性やコストの面で問題があります。維持管理費の面や多様な交流の喚起が期待できることなどを考えると、複合施設にすることが望ましいと思われます。コスト面や立地面積のみならず、複合施設になることによって生じるメリットとデメリットを十分精査し、関係機関とも十分協議した上で、下記の施設部門を複合施設として学習センターに組み込んでいくことを検討すべきです。

（１）図書館部門

現在の図書館は平成 5 年に建設された比較的新しい施設ですが、中心市街地や学校からかなり離れた場所にあります。自ら学ぶための豊富な資料が蓄積された図書館機能を学習センターに組み込むことで、学習活動の環境が飛躍的に向上するとともに、滞留機能や集客力が増加して賑わいの効果をより発揮できるなど、極めて大きな相乗効果が期待できます。

まだ十分に使える図書館を移転させることには異論もあるでしょうが、移設後の図書館を郷土資料館として再整備することで、老朽化が著しい郷土資料館を新たに建設する費用がかからなくなることから、コスト面においても十分に検討の価値があると考えます。

（２）社会福祉施設部門

町内会活動、ボランティア活動などの拠点となっている社会福祉協議会が入っている建物が老朽化しており、今後総合福祉センターの建設が計画されています。また、高齢者を対象としたふれあい・いきいきサロン「友遊」は老朽化した旧公共施設を間借りしている状態であり、安心して活動を継続していくための拠点が求められています。

学習センターを町内会活動、ボランティア活動、NPO活動をしている人たちの拠点とすることで、人づくり町づくりの拠点としての役割が、より一層明確になると考えられることから、社会福祉施設を複合施設として組み込むことを検討すべきです。

（３）観光案内部門

学習センターが市街中心地に建設されれば、この建物は町の顔となり、町外からの人も訪れます。現在ぷらと内に観光案内所がありますが、知名度・利用度は必ずしも高くありません。別海市街を訪れた人が情報を求めて立ち寄るような「道の駅」的な機能を学習センター内に導入することで、より幅の広い文化的交流や街中の賑わいが生まれることから、導入について検討すべきです。

２－５．配慮すべき事項

学習センター建設に当たっては、以下の事項に十分配慮して進めるべきです。

- ・ 情報発信や交流促進の観点から、交流しやすい環境づくり（開放的で区切りが曖昧な作りなど）が望ましい。
- ・ 各種サークル専用のロッカーや美術品保管庫など、保管収納スペースを十分に用意する。
- ・ お年寄りにも子どもにも障害者にも優しい、バリアフリーでユニバーサルデザインの建物とする。
- ・ 再生可能エネルギーの積極的利用やLED照明の採用など、環境や維持費の軽減に配慮した設備とする。
- ・ 町民の意見を材料に優れた提案をしてくれるコンサルタントを選定する。
- ・ 周辺のカフェやレストランなどとも連携しながら、地元食材を使った軽食を楽しめる工夫を検討する。
- ・ 駐車場を広く取るとともに、一台当たりの幅も十分な余裕を持たせる。
- ・ 維持費を抑えることで利用料はできるだけ安くし、町民みなが気軽につどえ、

ふれあえるようにする。

- ・ 構造、内装はできるだけ地場産材の活用を図り、町民が親しみと誇りを持てるように検討する。（中標津空港のような木材を使用した建物）

2－6．実現化に向けて

本構想は、住民・関係団体等のニーズを踏まえた指針であり、今後は財源の確保をはじめ、様々な課題を解決しながら下記の視点で計画を精査し、実現化に向けて進んでいく必要があります。

1．図書館・社会福祉機能の導入

図書館関係者や福祉関係団体とも十分協議するとともに、立地スペースの問題や建設コストについても十分検討し、導入に向けて進めていくべきです。

2．既存施設との連携

新築部分と繋げる場合、建築基準法・消防法上の問題や、スペースの問題、管理系統の問題が生じます。役場建設部やコンサルに依頼し、本構想を最大限活かせるような計画にしていけるよう、具体化していく必要があります。

3．財源の確保

高額な建築費は、町の財政を大きく圧迫することから、適切な財源を確保するため、各種補助制度を十分に活用する必要があります。

補助事業の種類によっては様々な制約がありますが、本構想の中核となる部分は可能な限り採用されることが強く望まれます。

4．中心市街地活性化計画との整合性

中心市街地の空洞化が問題となっており、現在「別海町市街地活性化計画（別海地区）」が策定中です。

学習センターが中心市街地に建設される場合は、この計画との整合性を十分に図るとともに、中心市街地賑わいの中核施設として整備する必要があります。

5．建設予定地の確定

建設候補地には町有地以外の土地も含まれていることから、土地所有者との協議を行い、できるだけ早く建設予定地を確定する必要があります。

6. 町民・利用者団体の意向の把握と計画への反映

計画の具体化に当たっては、別海町自治基本条例の精神に基づき、パブリック・コメントや、本基本構想から想定される利用団体への利用意向調査等を適宜実施し、施設を利用する住民や関係団体の意向を十分に把握しながら計画に反映させて進めていく必要があります。

また、建設に係る基本計画・基本設計・実施設計などについて検討する委員会は、現在の基本構想策定委員会委員の他、町民から公募するなど、町民の意見を十分に反映できる委員構成とし、よりよいものを協働で作り上げていくことが求められます。

7. 住民との協働

建設後のソフト面を充実させるため、学習センターの運営や事業に関する各種フォーラムやプレオープンイベントを開催し、行政と町民が協働しながら建設への機運を高めていく必要があります。

3. 參考資料

3-1. 町民アンケートの結果

1. はじめに

総合政策課で平成 25 年 5 月から 6 月にかけて実施した「別海町まちづくりアンケート」のうち、生涯学習センター建設に係る分について生涯学習課で独自に集計した。以下はその集計結果とその分析である。

2. アンケート実施概要

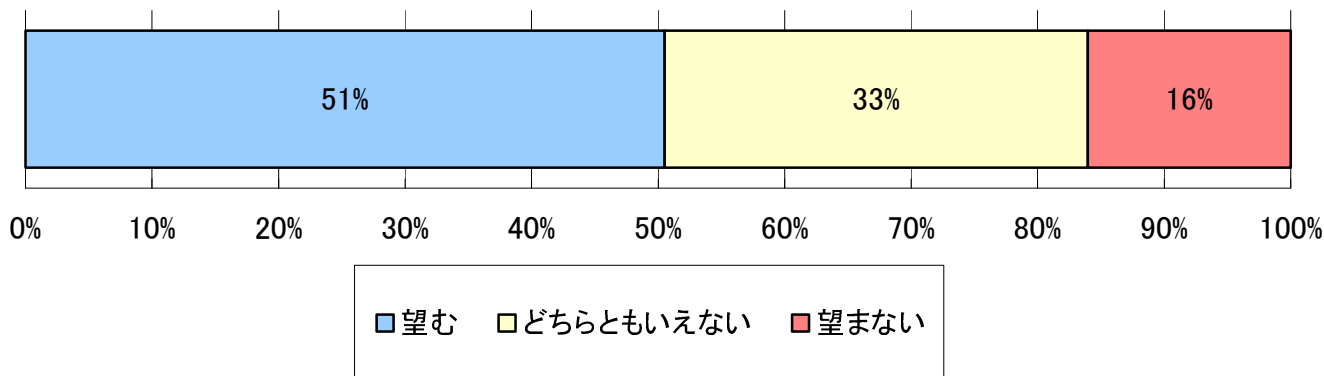
実施期間 平成 25 年 5 月～6 月
対象 18 歳以上の町民 2,500 人
回答数 786 人

3. アンケート結果と分析

(1) 生涯学習センター建設の賛否について

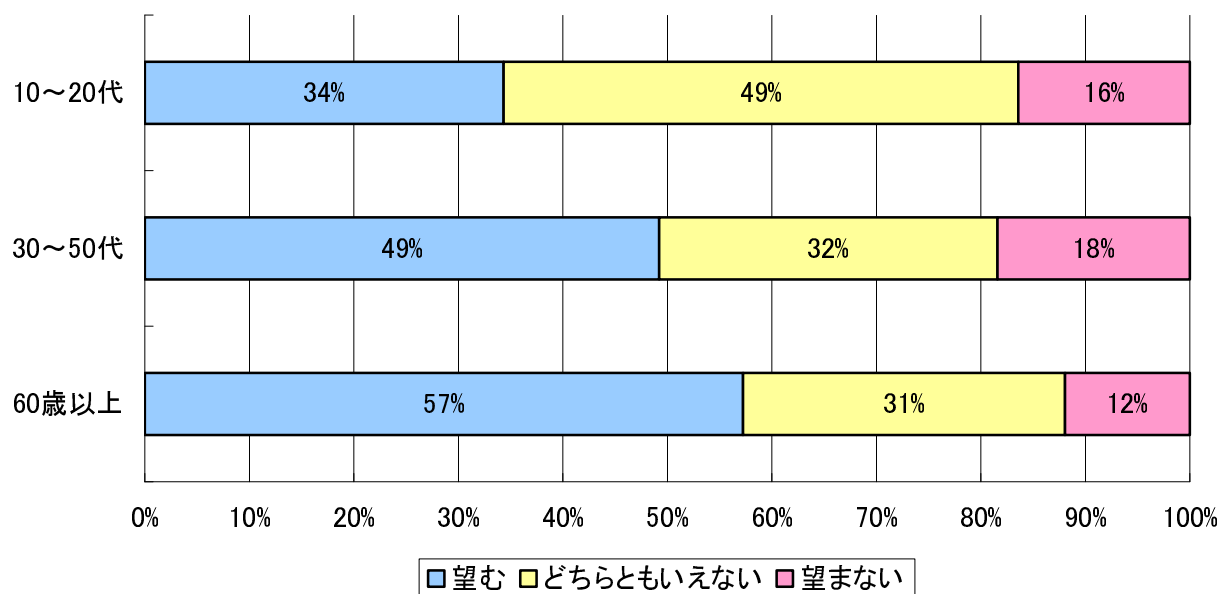
生涯学習センターの建設の賛否について、問 21 によって意向を調査した。

問 21 あなたは、中央公民館（（仮称）生涯学習センター）の建て替えを望みますか。
（1 つに○印）
1. 望む 2. どちらともいえない 3. 望まない



望む	どちらともいえない	望まない	合計
381	252	121	754

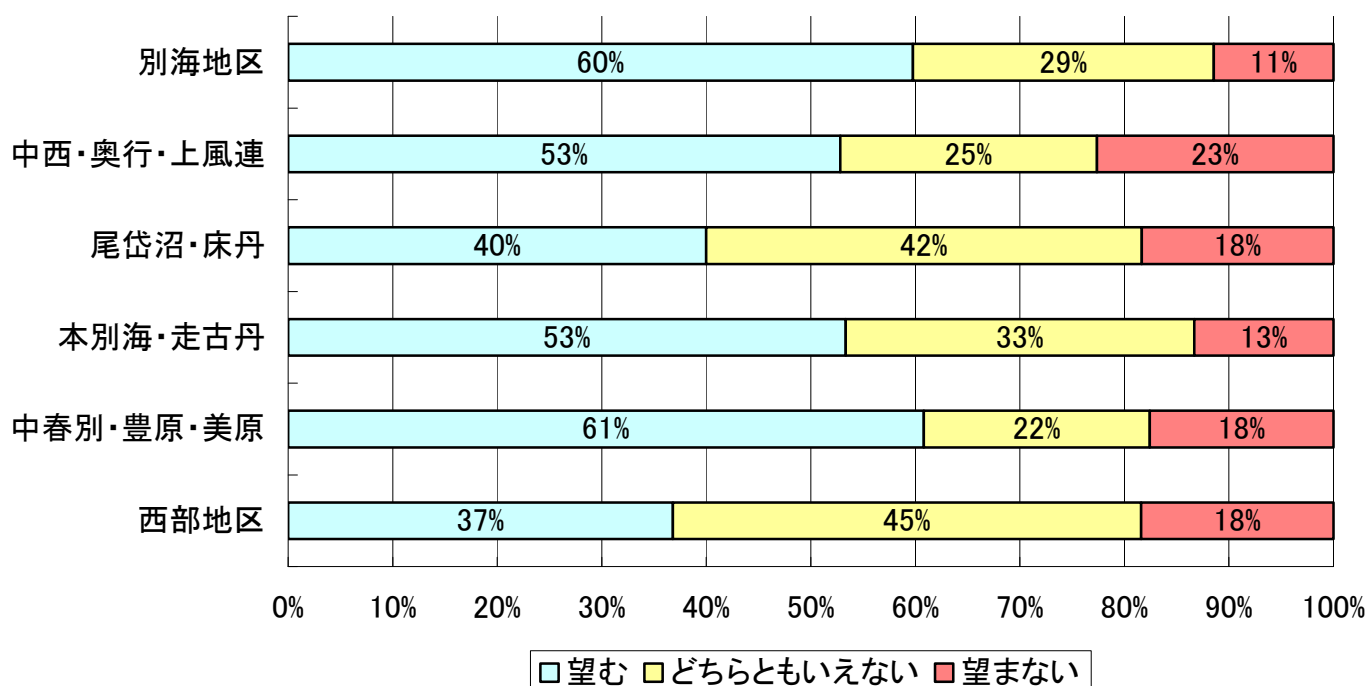
全体で半数以上が中央公民館建て替えを望んでおり、望まない人の割合は 16%と低い。続いて、年代別の結果を示す。



	望む	どちらともいえない	望まない	合計
10～20代	23	33	11	67
30～50代	190	125	71	386
60歳以上	158	85	33	276
合計	371	243	115	729

年齢別では、年齢層が高いほど、公民館の建て替えを望んでいることが分かる。若年層は「どちらともいえない」との回答が約 50%を占める。高齢者になるほど公民館を利用している現状が現れたものと考えられるが、若年層もセンター建設に否定的ではないことが分かる。

続いて地区別の結果を示す。



地 区	望む	どちらとも いえない	望まない	合計
別海地区	193	93	37	323
中西・奥行・上風連	28	13	12	53
尾岱沼・床丹	24	25	11	60
本別海・走古丹	8	5	2	15
中春別・豊原・美原	45	16	13	74
西部地区	74	90	37	201
合計	372	242	112	726

別海地区と中春別・豊原・美原地区では建設を「望む」が 60%を超えている。特に別海地区では「望まない」の割合は 11%と低い。一方、西公民館を利用する西部地区、東公民館を利用する尾岱沼・床丹地区では、建設を「望む」が 40%以下にまで下がる。これは「どちらともいえない」と回答する人が多いため、先ほどの若年層の結果同様、普段あまり利用していないためにどちらとも回答できないという考えを反映していると思われる。

注目すべきは、中西・奥行・上風連地区で建設を「望まない」人の割合が 23%と地区別で最も高い点である。特に上風連は 21 名中 7 名 (33%) が「望まない」と回答している。その他個別地区で「望まない」が高いのは、豊原地区 (16 名中 5 名 31%)、泉川地区 (13 名中 5 名 38%) である。

建設を望むと回答した人 381 名のうち、問 25 の自由意見を記入したのは 86 名であり、早急な建設を望む意見が 7 件あった。別海地区の高齢者がほとんどであり、日常的に中央公民館を利用している人たちと思われる。

- ・中央公民館を多く利用する者として、早期建替えを望んでいます。当然の事ながら、将来の時代進歩に添った活動を楽しく利用していける”集う楽しみ”を心に描ける施設がほしいと願います。(70 歳以上女:本別海地区)
- ・なるべく早い時期を(60 代男:別海地区)
- ・一日も早く建替えを望みます(70 歳以上性別不明:別海地区)
- ・建替え早急をお願いします(60 代男:別海地区)
- ・早く(60 代男:別海地区)
- ・出来れば早く建ててほしいです。(70 歳以上男:別海地区)
- ・今頃建て替えの話が出てくるとは遅すぎる。公共施設の中で最も危険な(耐震)建物である。早急な建て替えを望む。中央公民館での行事中の震災が心配だ。(60 代男:別海地区)

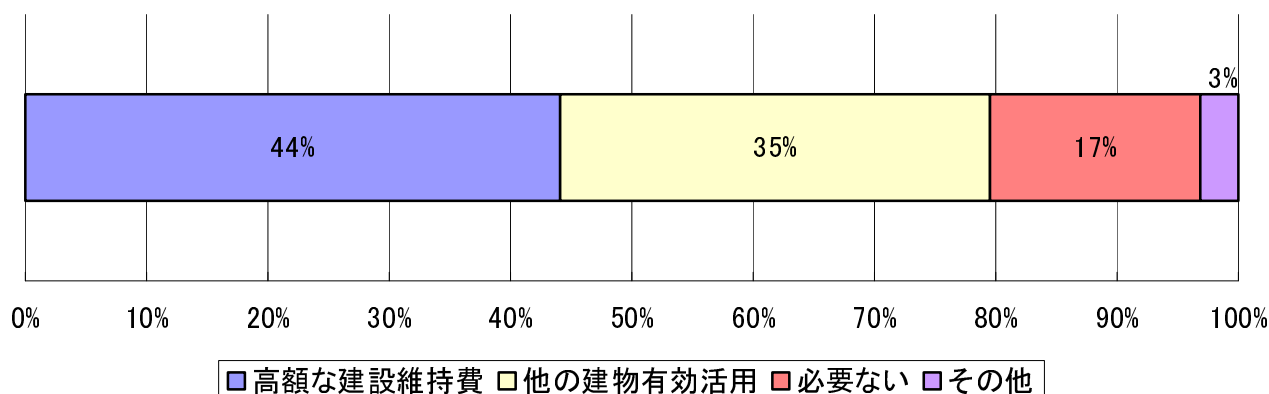
建設を望むと回答した人でも、コストを抑えて既存施設を有効活用すべきという意見が 12 件出されていた。有効活用すべき建物としては、マルチメディア館とぷらとが挙げられている。

- ・あれも、これもと頭のなかでの理想であった方が良くと思って計画してもどうでしょうか。華美にならないように、また私たちの街の文化の館にふさわしい計画を宜しくお願い致します。(年齢不明性別不明:居住地不明)
- ・「ぷらと」+「メディア館」の施設を一体利用できるのも重複する部分は省くことができると思います。(70 歳以上男:別海地区)
- ・個人的に利用する機会が多いのですが、土日でも利用されていない部屋が多い気がします。各部屋の利用頻度をちゃんと把握して中央公民館以外でも代用できそうな施設があるとなはなくしたりして無駄なく必要最低限の設備にしたほうがいいと思います。(30 代女:豊原地区)
- ・ソーラーなど利用して維持・管理に負担をできるだけ抑えて (50 代女:中春別地区)
- ・規模を大きくしないで会議室・研修室はぷらと、マルチメディア館の施設を利用 (60 代男:別海地区)
- ・予算があれば建てたいと思います。他の建物と一緒に使うということが出来ればそれも良いと思いますが… (60 代女:矢臼別地区)
- ・生涯学習センター単体で機能を充実させるのではなく、マルチメディア館・交流館ぷらとを横断的(一体化)に利用、活用してほしい。(30 代男:別海地区)
- ・マルチメディア館の有効活用(50 代女:別海地区)
- ・必要最小限の経費で建替える。(50 代女:西春別駅前地区)
- ・高額な建設費、維持費がかからないような物にしてほしい(50 代女:別海地区)
- ・大きい規模、施設、設備があればよいが建替えに費用が必要(高額な)外観もシンプルで落ち着いた建物で良い。以前のように豪華な建物は不用と思われます。(年齢不明性別不明:居住地不明)
- ・町の財務が良好になった時に建設すべきです。(70 歳以上男:別海地区)

問 21 の付問として、生涯学習センター建設を望まない理由を聞いた。

問 21 で「3.」に○をつけた方にうかがいます。望まないと思う理由はなんですか。(1 つに○印)

- 1 高額な建設費・維持費が必要なため。
- 2 現在ある建物を有効活用すべき (具体的な建物として:)
- 3 そもそも必要ないと思う
- 4 その他 (具体的に:)



高額な建設維持費	他の建物有効活用	必要ない	その他	総計
56	45	22	4	127

そもそも必要ないという全否定派は少数で、高額な建設費・維持管理費を理由に挙げた人が多数を占めている。一方、町内にある既存施設の有効活用を理由に挙げている人も多い。

有効活用すべき建物として回答されたものは以下のとおり（複数回答あり）。

場所	回答者数
スポーツセンター	5
ぶらと	5
マルチメディア館	5
廃校になった学校	3
改修	2
市街地の空き店舗	2
図書館	2
役場	1
総計	25

建設を望まないと回答した人 121 名のうち、問 25 の自由意見を記入したのは 29 名であり、必要性への疑問の意見が 4 件あった。

- ・ 本当に必要か？ 5～6 年作らないでみたらどうか？町として必要か？企業の施設管理はどうか？（30 代女：別海地区）
- ・ 必要としない（60 代男：大成地区）
- ・ 必要ないと思います。（50 代男：尾岱沼地区）
- ・ 建替え必要なし。他の施設等見直しすべき！（60 代女：別海地区）

高額の建設費・維持費がかかることから建設に反対していると思われる意見が 5 件あった。

- ・ 根室や中標津町までの規模は必要ない。水力、バイオ、太陽光などを利用したエネルギーを活用すると、又、カラマツ材等を活用すること。鉄筋コンクリートでなくても出来る、維持管理費が負担できないものを造っては何にもならない。（70 歳以上男：別海地区）
- ・ 新しい建物はお金がかかるのでもういらない（50 代男：豊原地区）
- ・ 中央公民館を過去利用したことがない。何に利用するかも不明。問 24 の項目はすべて他の施設で代用できる。ムダな出費はつつしむべき！！（50 代男：西春別地区）
- ・ お金をかけない。賢くお金を使うこと（50 代女：別海地区）
- ・ 老朽化して建替えの必要性も感じるが、高額の建築費・維持費がかかる為そこが問題だ（40 代女：床丹地区）

建設せずに他の施策にお金を回すべきとの意見が 3 件であった。

- ・ それなら高齢者、障害者、子育て支援に使ってほしい。（30 代男：西春別地区）
- ・ 別海町の中心に住んでいる人以外は、あまり利用しないのでは？そんなに立派なものをつくるのなら、他に予算をまわしたほうが良いと思う。道路も穴だらけで、危ないですが。（30 代女：居住地不明）
- ・ 生涯学習センターはいまある建物で十分。箱物を建てるよりもっと重要なことに使った方がいい。（50 代男：西春別駅前地区）

意見数が多かったのが、建設せずに既存施設の利用を求める意見であり、11 件であった。

- ・大ホールの存在は中標津に譲る。「他町並みに同じような大きな施設を！」と考えない。無駄と無理（財政面）をしない。(50 代男:別海地区)
- ・完全に建替えるのではなく、あまり使用されていないマルチメディア館付近に大ホールを設け、増築という形のほうが望ましい(30 代男:別海地区)
- ・新しいハコモノを一から作るより、町の空き店舗や廃校になった校舎等を有効に使うべきではないのか。別海町はそんなにお金があるのか。(40 代女:上風連地区)
- ・現存している建物を再利用するか補修する。(50 代女:中西別地区)
- ・別海町って大きな立派な建物が多くないですか。この先の維持費が大変じゃないですか。役場がものすごく大きい気がするんですけど、公民館の機能も含めることってできないのですか？なんでも新しいものを建てるんじゃなくて、最大限工夫してほしいです。(50 代女:別海地区)
- ・町体で間に合うんじゃないのか。(20 代男:上春別地区)
- ・会議にはぷらとがあるし、美術には今の公民館や西公民館があるし、他の場所で代用できるから新しくするためにお金を使わないでほしい。なくてもいいとさえ思う。ぷらとがありますから……。 (30 代男:西春別地区)
- ・町にある各種の現在の建物を利用する事(70 歳以上男:豊原地区)
- ・別海町って大きな立派な建物が多くないですか。この先の維持費が大変じゃないですか。役場がものすごく大きい気がするんですけど、公民館の機能も含めることってできないのですか？なんでも新しいものを建てるんじゃなくて、最大限工夫してほしいです。(50 代女:別海地区)
- ・必要最低限度の建物で良いと思う。→どうしても建替えるのであれば。もしくは今ある物を有効に使う。(40 代女:床丹地区)
- ・別海町内に 3 つの公民館は必要ない。車社会へシフトしている時代です。統一するなどの工夫をしてはいかがですか？(60 代女:別海地区)

その他建設を望まない人の意見として、次の意見があった。

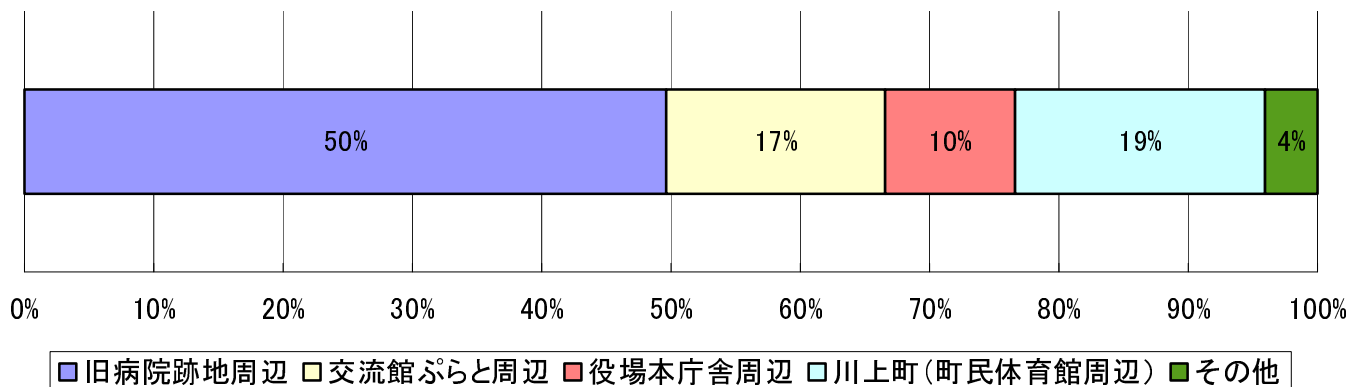
- ・反対。中央集中になり、他は通勤に車となるから。(60 代男:尾岱沼地区)
- ・現在上春別に住んでいるので利用するにも別海・西春別駅前まで公民館に行かないとならないので上春には必要ないです。(60 代女:上春別地区)

(2) センター建設場所について

センターの建設場所について、問 22 で現在建設の候補地になっている箇所を挙げ、住民の希望を調査した。

問 22 建て替えをする場合、建設場所はどの位置が良いと思いますか。(1つに○印)

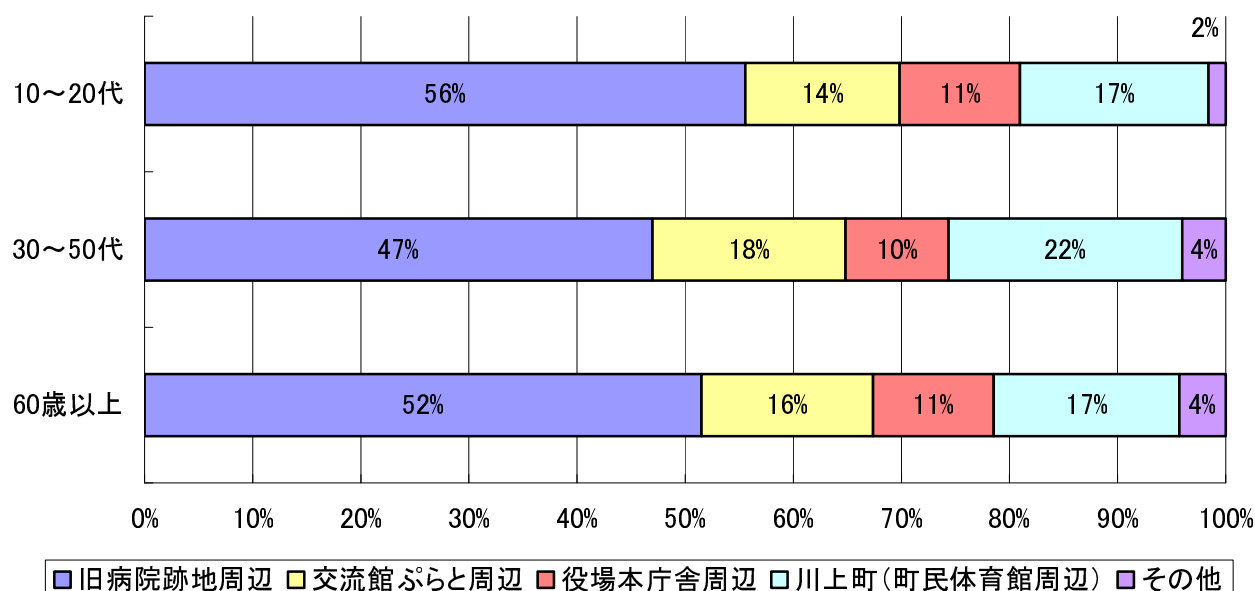
- 1 旧病院跡地周辺 2 交流館ぷらと周辺 3 役場本庁舎周辺
4 川上町(町民体育館周辺) 5 その他(具体的に:)



旧病院跡地周辺	交流館ぷらと周辺	役場本庁舎周辺	川上町(町民体育館周辺)	その他	合計
331	113	67	129	27	667

病院跡地を挙げた人がおよそ半数を占めた。これは、病院が解体されて現に空き地になっている状況を目にしていること、現在の中央公民館の位置にも近く、市街中心地に位置することがその理由と考えられる。ぷらとと回答した人も加えると、市街中心地での建設を望む人が7割近くに上る。ぷらと周辺と回答した人は17%であった。

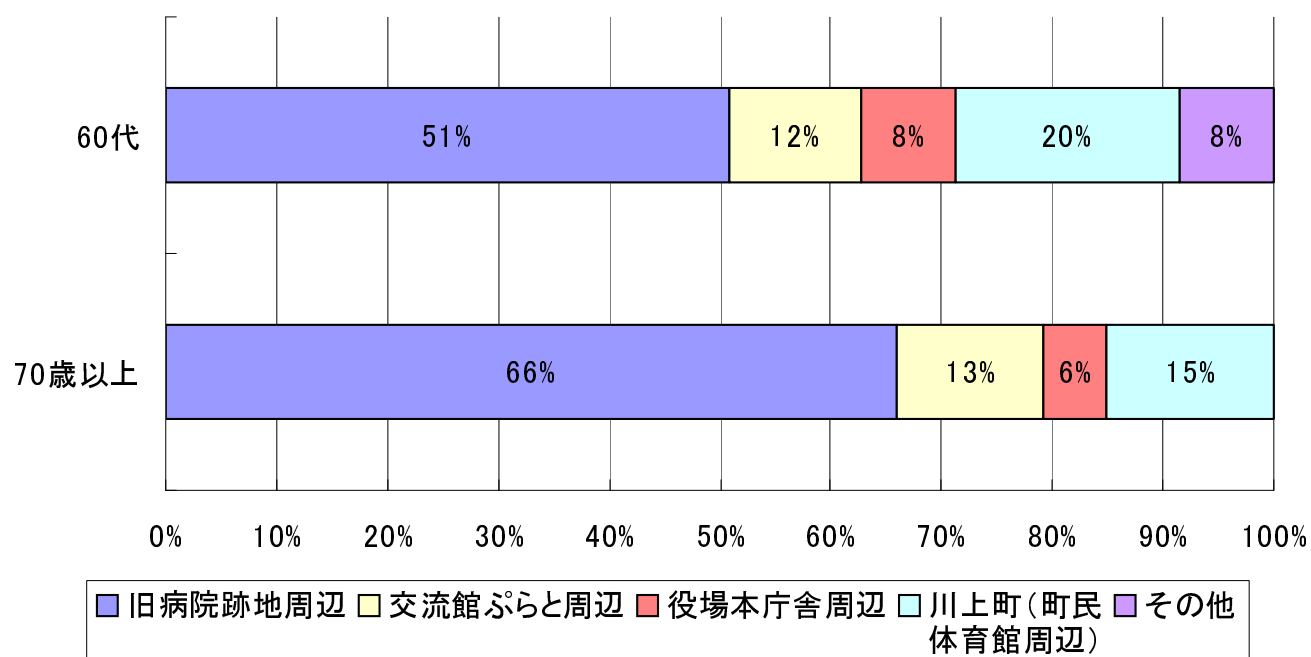
年代別の結果は次のとおりである。



	旧病院跡地周辺	交流館ぷらと周辺	役場本庁舎周辺	川上町(町民 体育館周辺)	その他
10～20代	56%	14%	11%	17%	2%
30～50代	47%	18%	10%	22%	4%
60歳以上	52%	16%	11%	17%	4%

意外にも若年層が病院跡地を一番支持している。他の年代と比較すると、30～50代はぷらと周辺と川上町の支持がやや高い。

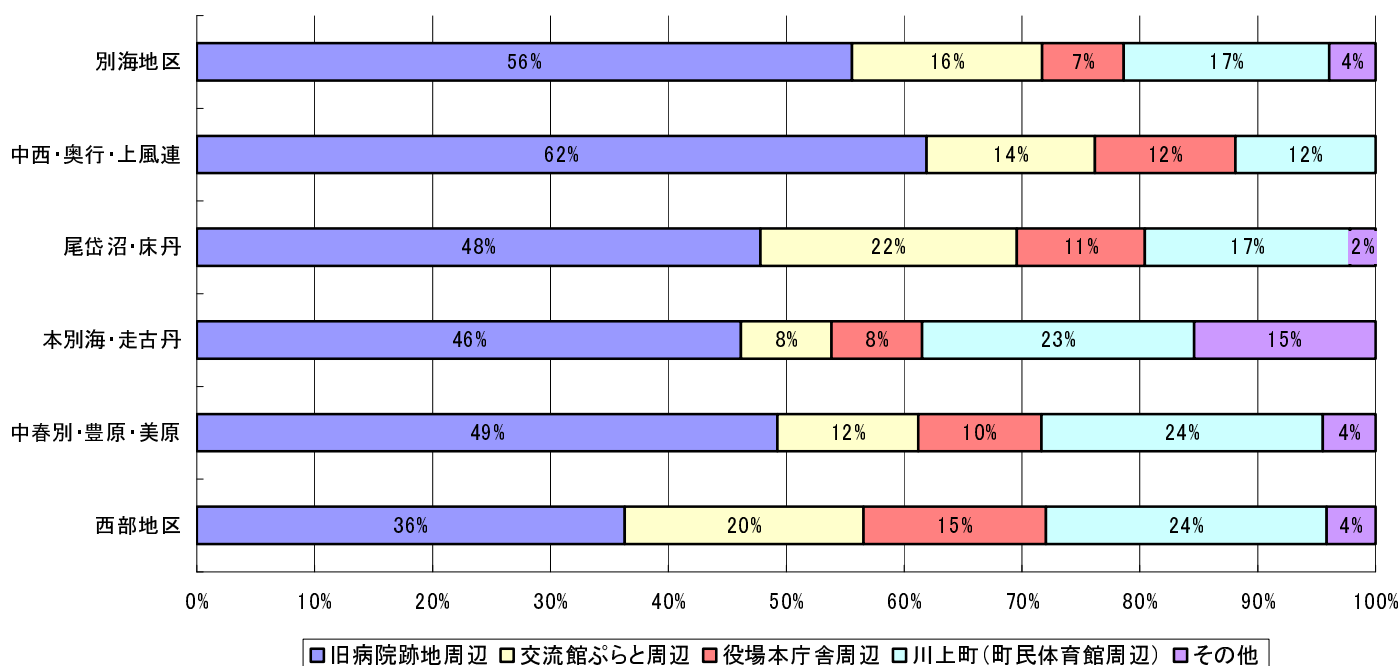
対象を60歳以上で別海地区の住民に絞った場合の結果は次のとおり。



	旧病院跡地周辺	交流館ぷらと周辺	役場本庁舎周辺	川上町(町民 体育館周辺)	その他	合計
60代	30	7	5	12	5	59
70歳以上	35	7	3	8	0	53

別海地区の高齢者にとっては、歩いていける距離にあることも重要であり、70歳以上になると、市街地建設の希望が8割近くになっている。

地区別の結果は以下のとおり。



	旧病院跡地周辺	交流館ぷらと周辺	役場本庁舎周辺	川上町(町民体育館周辺)	その他	合計
別海地区	169	49	21	53	12	304
中西・奥行・上風連	26	6	5	5	0	42
尾岱沼・床丹	22	10	5	8	1	46
本別海・走古丹	6	1	1	3	2	13
中春別・豊原・美原	33	8	7	16	3	67
西部地区	61	34	26	40	7	168
合 計	317	108	65	125	25	640

別海地区と比べると、西部地区は病院跡地の希望者が比較的に少なく、役場周辺地・川上町付近の希望者が多い。本別海・床丹地区、中春別・豊原・美原地区は役場周辺地・川上町付近を希望する人が比較的多い。どちらにせよ車を使わざるを得ないためと考えられるが、その一方で、中西・奥行・上風連地区では、別海地区よりも病院跡地を希望する割合が高くなっている。

回答5「その他」として具体的に挙げられたのは、図書館付近（2名）、マルチメディア館付近（1名）、中央小学校（1名）、鶴舞町（1名）、中春別（1名）などであったが、駐車場が十分確保できる場所という意見が4名おり、現在の中央公民館の駐車場スペースに対する不満の表れと見られる。

問25の自由意見のうち、建設場所について言及している意見が14件あった。そのうち12件が市街中心部への建設を希望、残りが川上町と図書館周辺という意見である。市街中心部への建設を希望する意見を書いているのは、ほとんどが別海市街の住民であり、超高齢化社会を迎え、市街地への建設が強く望まれていることが窺える。

【市街中心部】

- ・中央在住の方の会館を考えますので今まで通りゲタばきで行けることも考慮すべき。場所は①～④まで良いところをあげていますね。②につけたのは旧西別駅の位置の開発が私のイメージと違ってぷらと館があまりにも遠慮したかたちになってしまいました。この際、ぷらと広場を中心に広い位置取りでもう一度考えてみたらいかがでしょうか。中央以外の外からの通行は車ですからどの位置でも不便はないと思います。(年齢不明性別不明:居住地不明)
- ・交流館プラト附近に面積が確保されるのであれば「ぷらと」+「メディア館」の施設を一体利用できるので重複する部分は省くことができると思います。そして極力街外れより市街地中心部のほうが利用しやすいと思います。(70歳以上男:別海地区)
- ・高齢者の人が増えるので町の中がいいと思います。遠いと足が向かなくなります。(60代男:別海地区)
- ・別海町の中心地への建設を検討いただきたい。(30代男:別海地区)
- ・町の中心部に建替えた方がいいと思う(30代女:別海地区)
- ・高齢者が徒歩で利用できる市街地の中心が望ましい。規模を大きくしないで会議室・研修室はぷらと、マルチメディア館の施設を利用し、このため建設場所をAコープ跡地とぷらと横広場道路を潰して検討するなど十分な土地の確保は可能である。市街地を中心に集客することで町の活性化、商業の発展につながる。(60代男:別海地区)
- ・建設場所は高齢の方のために、病院近くなど、市街地周辺にしたほうがいいと思います。子どもたちのことも考えると、川上町などは徒歩だと大変だと思います。病院近くに建てれば、今のようになりやすい感じがします。(30代女:別海地区)
- ・公民館を建替えるとき、今どのくらいの利用があるかを考え今後の人口、年齢など考えた上で建替えてほしいです。これからは、年寄りが多くなりますので、利用するとき、遠いところに建てると遠のきますので、今の位置あたりがいいと思います。(60代女:別海地区)
- ・生涯学習センター単体で機能を充実させるのではなく、マルチメディア館・交流館ぷらとを横断的(一体化)に利用、活用してほしい。街の中心(拠点)になるような施設にしてほしい。図書館を持ってきてもいいと思う。(現在の図書館の位置は車のない人はほとんど利用しないと思う。市街地から離れすぎている。また、商工会をぷらとに置いておく必要性が感じられない。商工会は限られた人が利用する団体であり、ぷらとのような立地の良い場所に存在する必要はない。)生涯学習センター建設は中心市街地の再開発の最後のチャンスだと思うので思い切った計画を作成し進んで欲しいです。(30代男:別海地区)
- ・公民館を利用する人が、街に流れるように街中に建ててほしい。(50代女:別海地区)
- ・現在のところ、周辺が集まるのには、都合が良いと思います。(70歳以上女:別海地区)
- ・超高齢化社会到来を控え、車のない高齢者の利用を考慮し市街地に建設、駐車場は一部立体(高齢者は青空)。市街地空洞化の回避、活性化を図ることができる。市街地整備計画と併行して進めるべき。(50代女:別海地区)

【川上町】

- ・町民体育館周辺だと駐車スペースが充分にあり土地代もうくはずでは。(50代女:別海地区)

【図書館周辺】

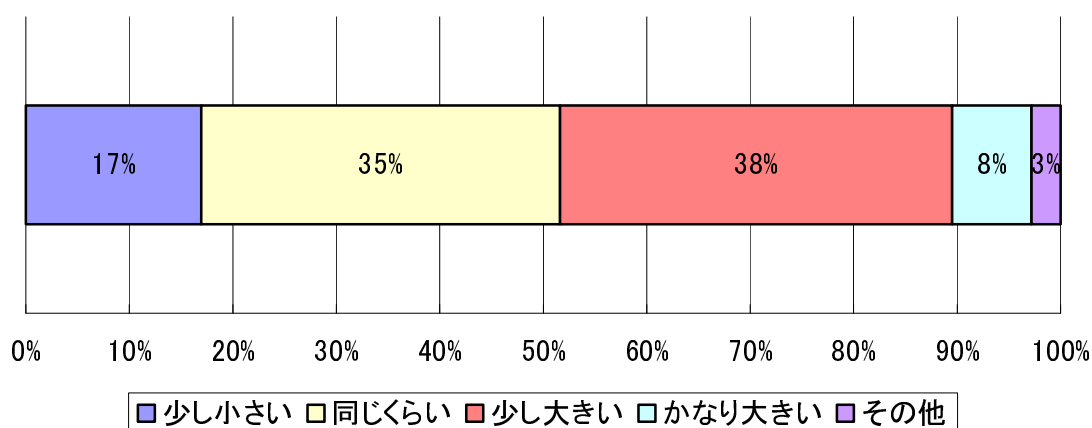
- ・中央公民館を建替えるのであれば、文化施設をあちらこちらに点々と作るのではなく、図書館周辺に博物館(現在の郷土資料館では博物館としての機能を果たしていない)や美術館など併設して作ったほうが利用価値があるのでは?教育面を考えても総合的な文化施設が必要だと思われます。(50代男:中春別地区)

(3) 生涯学習センターの施設・規模・機能について

生涯学習センターの規模と機能について問 23 と問 24 で住民の希望を調査した。

問 23 建て替えをする場合、どの程度の規模を望みますか。現在の中央公民館との比較で選んでください。(現中央公民館は延床面積約 1,900 m²) (1 つに○印)

- 1 少し小さい規模 (1,500 m²、西公民館程度)
- 2 同じくらいの規模
- 3 少し大きい規模 (3,000 m²、標津町生涯学習センター程度)
- 4 かなり大きい規模 (7,000 m²、中標津町総合文化センター程度)
- 5 その他 (具体的に：)

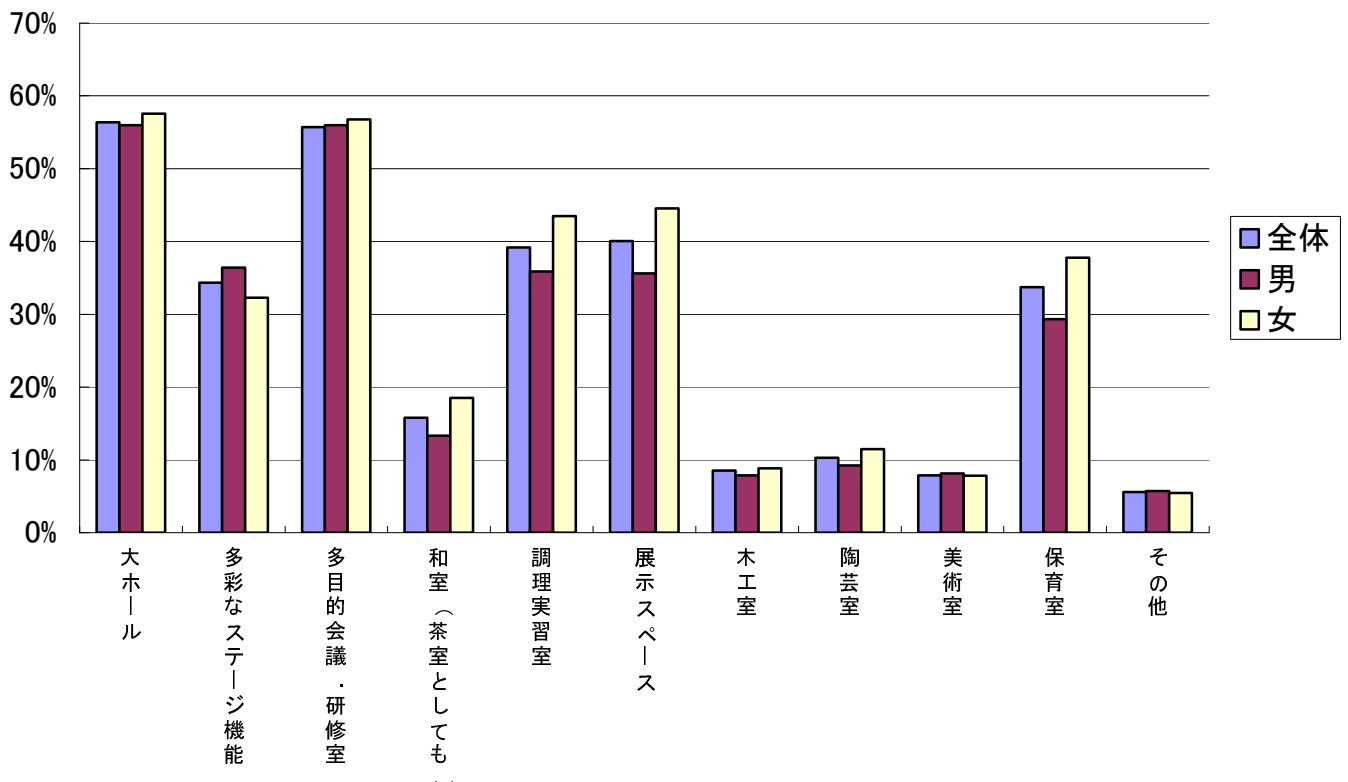


現在の中央公民館より少し大きめとした人が最も多く、次いでほぼ同じ大きさとした人が多かった。「かなり大きな規模」とした人は少数であった。「5. その他」で具体的な意見としては、標津と中標津の中間くらいの大きさが 3 名いたほか、「住民ニーズをしっかりと把握し、必要な規模を導いてほしい。柔軟な利用ができる間取りにしてほしい。」(30 代男性、別海地区,)、「今後の利用内容を決めて機能を充実した面積が決まるのでは。あまり大きい面積は望まない。」(年齢性別居住地無記入) といった意見もあった。

問 24 建て替えをする場合、どのような施設・設備が必要だと思いますか。必要と思われるもの全てを選んでください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 大ホール (名程度収容) | 2 多彩なステージ機能 |
| 3 多目的な会議室・研修室 | 4 茶室として使用できる和室 |
| 5 調理実習室 | 6 展示スペース (町民ギャラリー) |
| 7 木工室 | 8 陶芸室 |
| 9 美術室 | 10 保育室 |
| 11 その他 (具体的に：) | |

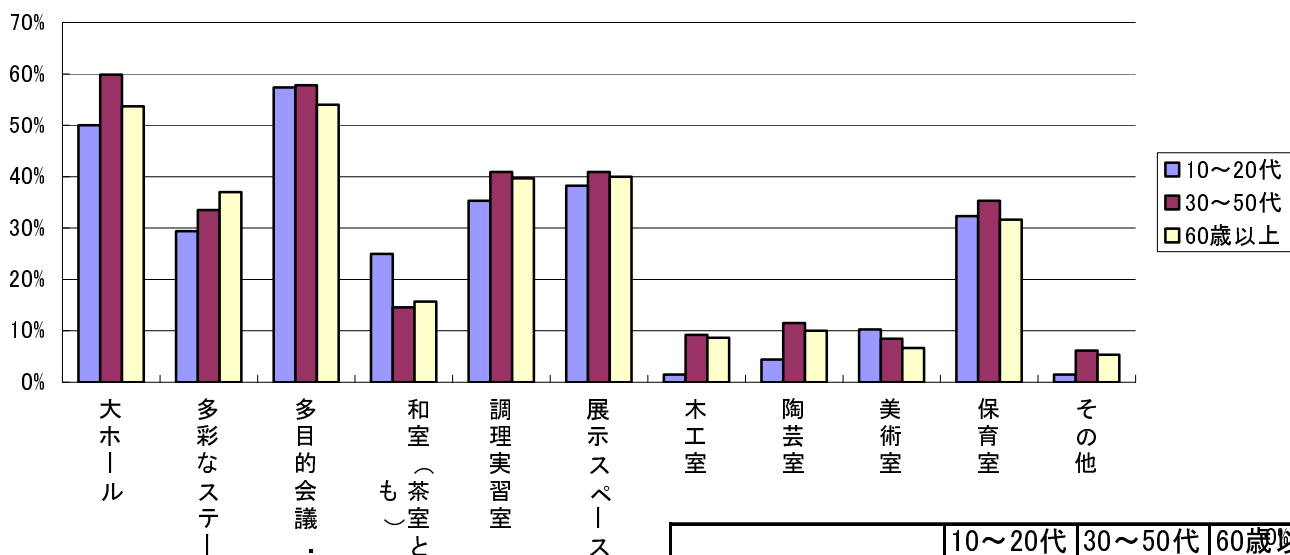
各施設・設備を必要とした人の割合を全体及び男女別で示した。



	全体	男	女
大ホール	56%	56%	58%
多彩なステージ機能	34%	36%	32%
多目的会議・研修室	56%	56%	57%
和室(茶室としても)	16%	13%	18%
調理実習室	39%	36%	43%
展示スペース	40%	36%	45%
木工室	9%	8%	9%
陶芸室	10%	9%	11%
美術室	8%	8%	8%
保育室	34%	29%	38%
その他	6%	6%	5%

大ホールや多目的会議室は当然ながら高い支持率となっているが、加工体験施設があるにもかかわらず調理実習室の支持率もかなり高い。町民ギャラリーも兼ねた展示スペースは、現在のスペースの狭さへの不満や、実例として中標津の総合文化センターが身近にあることも大きいと考えられる。また、保育室の支持率が特に女性で高いことは注目すべきである。

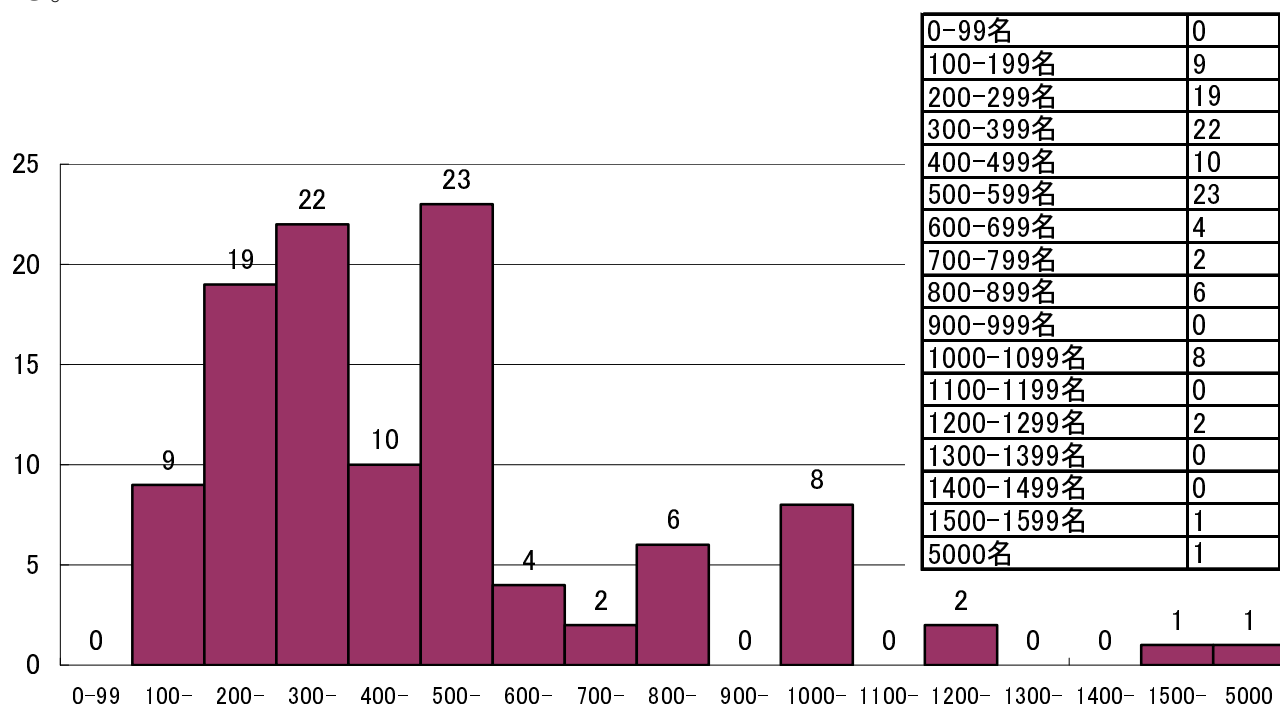
次に年代別に見てみる。



	10～20代	30～50代	60歳以上
大ホール	50%	60%	54%
多彩なステージ機能	29%	34%	37%
多目的会議・研修室	57%	58%	54%
和室（茶室としても）	25%	15%	16%
調理実習室	35%	41%	40%
展示スペース	38%	41%	40%
木工室	1%	9%	9%
陶芸室	4%	12%	10%
美術室	10%	8%	7%
保育室	32%	35%	32%
その他	1%	6%	5%

高齢者よりも若年層の方が和室の支持率が高いのは、意外な結果である。しかし木工室・陶芸室の若年層の支持率は極めて低い。保育室の支持率は、子育て世代のみならず全世代で平均して高いことが分かる。

大ホールの収容人数について、回答のあったものについて集計した結果、以下のとおりとなった。なお回答のうち、「300～500名」などはその中間の値である「400名」として集計している。



現在の中央公民館の収容人員である 500 名程度との回答が最も多いが、それより少ない 200 名から 300 名台とした人も多く、大ホールの客席は少なめにしてほしいとの希望が窺える。一方、800 名、1000 名とした回答もある程度の数となっている。

「11. その他」では、トイレ施設の充実（広さ・臭い対策・多機能性）を求める人が 4 人、災害時の施設が 4 人、資料館が 2 人、防音室が 2 人、世代間交流できる場所が 2 人、喫茶店が 2 人、広い駐車場が 2 人であった。その他の意見を以下に列挙する。

- ・文化協会、ボランティア、青年団体、子ども会等が専用に使用できる「団体事務室」（合同部屋）
- ・図書館 ・冠婚葬祭ができる場所
- ・交流サロン、見守り、文化活動も少し、高齢者一人暮らし、学童含む子供達、絵本の部屋、レコード鑑賞、ステレオ充実で
- ・展望タワー室。広い町が見られれば他からも人が来るのではないかな。
- ・全天候に対応できるような遊具施設がほしい（夢の森公園のような）また、土日もそのような施設を開放してほしい。
- ・小規模映画館 ・温泉つきスパ ・リメイクサークルできる和室
- ・和の感覚でおちついたインテリア。地元の木工を活かした様式。
- ・大ホールであり、アリーナにも兼用できる応用のあるスペースづくりをしてほしい
- ・ダンス室 ・映写室 ・大ホールに音響設備 ・少人数が利用できる部屋を望む
- ・雨天でも子どもが遊べる様な遊具がある室内遊技場 ・小ホール
- ・勉強会・講習会のできる場 ・体育館・イベント時に保育可能にして！・ピアノの発表会ができる

問 25 の自由意見には、施設・設備についての意見も数多く書かれているが、特に駐車場について言及している意見は、22 件（全意見数の 15%）にも及ぶ。建て替えに当たり、現在の駐車場の問題が解決されることを望んでいる人が多いことが分かる。

- ・駐車場の確保も大切なことと思います。（70 歳以上男：別海地区）
- ・現在の公民館のような出入りにくい道路、少なすぎる駐車場は困ります。自分が住むつもりで設計し計画してほしい。税金で建てることを忘れず計画するのは当たり前。（30 代女：別海地区）
- ・駐車場を多くしてください。（30 代男：別海地区）
- ・駐車場、景観等の整備。（50 代男：中春別地区）
- ・駐車場は現在よりも広くしてほしい（60 代女：別海地区）
- ・駐車場の広い場所（70 歳以上女：中春別地区）
- ・国道もしくは大きな道路に面していて、とにかく駐車場スペースを十分とってほしい（30 代女：上風連地区）
- ・駐車場を広くとってほしい。（60 代女：泉川地区）
- ・駐車場を大きくしてください。（40 代女：中西別地区）
- ・公民館規模に伴い、駐車場も広げる（70 歳以上男：別海地区）
- ・トイレと駐車場等がもう少し広いといいかなと思います。（70 歳以上女：別海地区）
- ・駐車場を広く（50 代女：西春別駅前地区）
- ・建替えるのであれば駐車場スペースを確保してほしい。（30 代男：中西別地区）
- ・駐車場を広く。（50 代女：上春別地区）
- ・駐車場を広めにして、みんなが止めれるようにしてください。（30 代男：中春別地区）
- ・駐車場は広くしてほしい（60 代男：本別海地区）
- ・駐車場は一部立体（高齢者は青空）。（50 代女：別海地区）
- ・駐車場が多いほうが良い。（40 代女：別海地区）
- ・駐車スペースをほしい。（60 代女：床丹地区）
- ・現在よりも駐車スペースを格段に多くしてもらいたい。（50 代男：別海地区）
- ・駐車スペースを広く、外に備えてほしい。（50 代女：別海地区）
- ・町民体育館周辺だと駐車スペースが充分にあり土地代もうくはずでは。（50 代女：別海地区）

次いで施設・設備について意見が多かったのがトイレであり、5件であった。いずれも女性からの意見である。

- ・トイレ（身障者用含め）の整備は人を集められるポイントです。（50代女：豊原地区）
- ・トイレ（女子）にオムツ交換台があると良いですね。（40代女：中西別地区）
- ・高齢者にとって使いやすく（トイレ、階段等）してほしい。（70歳以上女：別海地区）
- ・トイレと駐車場等がもう少し広いといいかなと思います。（70歳以上女：別海地区）
- ・トイレ等も水洗トイレで2～3人は入れる様であればいいと思う。（50代女：別海地区）

トイレとも関わるが、バリアフリーの設備を求める意見も3件あった。

- ・出入り口のバリアフリー化、エレベーター（70歳以上女：尾岱沼地区）
- ・二階建てにするのであれば、エスカレータをつけてください。小さなお子さん連れや障害者の方たち、お年寄りも不便なく利用できるようにしてください。（40代女：中西別地区）
- ・高齢者にとって使いやすく（トイレ、階段等）してほしい。（70歳以上女：別海地区）

災害時の避難所としての機能や耐震性について言及した意見は8件であった。

- ・中央公民館のような所は避難所として必要だと思います。（30代女：豊原地区）
- ・地震が多いので、耐震性が大事だと思います。（20代女：別海地区）
- ・避難所をかねているので丈夫な建設をお願いします。（50代女：別海地区）
- ・災害時の避難施設として使用する場合を考え、そこに来れば安全で安心ができて苦痛にならないように工夫をしてください。（60代女：別海地区）
- ・自然災害時を想定した建物の建替えを希望します。（津波、地震、竜巻等に対応）（70歳以上男：尾岱沼地区）
- ・今後温暖化が進んで降り始めて500mmとか大洪水に床上まで水につかることのないように1段高い場所に。（70歳以上男：美原地区）
- ・老朽化、耐震性の問題での建替えは仕方がないと思う。（30代男：別海地区）
- ・今頃建て替えの話が出てくるとは遅すぎる。公共施設の中で最も危険な（耐震）建物である。早急な建て替えを望む。中央公民館での行事中の震災が心配だ。（60代男：別海地区）

具体的な設備名を挙げるのではなく、十分な検討をして決定すべきという意見が3件あった。

- ・将来人口や、現在30代～50代の方がどのような教育を受け、どのような時代に育ったかによって利用内容が見えてくると思います。（年齢不明性別不明：居住地不明）
- ・個人的に利用する機会が多いのですが、土日でも利用されていない部屋が多い気がします。各部屋の利用頻度をちゃんと把握して中央公民館以外でも代用できそうな施設があるとはなくしたりして無駄なく必要最低限の設備にしたほうがいいと思います。（30代女：豊原地区）
- ・何に使うのか、どんな人が使うのかをしっかりと考えて、必要な設備をしてほしい。年に1～2回しか使わないような設備はいらない。（30代女：別海地区）

エコロジーを重視した意見が3件あった。

- ・水力、バイオ、太陽光などを利用したエネルギーを活用する、又、カラマツ材等を活用すること。鉄筋コンクリートでなくても出来る、(70歳以上男:別海地区)
- ・ソーラーなど利用して維持・管理に負担をできるだけ抑えて、町民すべての人たちの利用を最大限に活かして、町民還元型の有意義な施設を希望します。(50代女:中春別地区)
- ・エコで維持費のかからない建物であってほしい(60代女:美原地区)

軽食コーナー・喫茶店の要望が3件あった。いずれも50代女性で、別海地区以外の人である。

- ・駐車場を広く。軽食コーナーがほしい。(50代女:上春別地区)
- ・中に喫茶店兼町民の出品したものを販売できる様な店を作してほしい(50代女:上風連地区)
- ・町内にゆっくりと休める様な喫茶店もなくなっているので町民がくつろげる場所があればいいと思います。喫茶室として(50代女:奥行地区)

子どもたちのための施設への要望が3件あった。

- ・駐車場、景観等の整備。小さな子供達も集える施設も併設(50代男:中春別地区)
- ・子供達が実験や体験が出来る科学館みたいな要素がほしい(釧路の遊学館みたいな)(年齢不明性別不明:居住地不明)
- ・ゆめの森のような無料で子どもが遊べる広いスペースが室内にあると施設利用の人以外にも気楽に毎日多くの方が利用してもえらえると思います。(50代性別不明:中春別地区)

式場・斎場としての機能を求める意見が2件あった。

- ・結婚式場としても利用できる(利用したくなる)ような建物であったり、ママ友たちや家族で子どもを連れて行って一緒に過ごせる場所になったり、特色のあるおもしろい施設になってほしいです。(30代女:西春別地区)
- ・葬儀(中規模・100名位が参列可能)などに使用可能な会館が必要かと思っています。(40代男:別海地区)

ロビーについての意見が2件あった。

- ・中標津しるべっとのロビーのような展示、ミニコンサートなどのできる明るいスペース(50代女:別海地区)
- ・少し広めのロビーがあり、ロビーコンサートなどできれば良いですね。(40代女:別海地区)

その他施設・設備については下記の意見があった。

- ・映画がみたいので、ぜひ映写室を設置してもらいたい。そして、毎月の上映会を開いてもらいたい。(30代男:西春別地区)
- ・冬の間小中学生は運動する機会も減少し場所ありません。体育館のようなスポーツが出来る場で幼児から高校生の方まで色々なスポーツや遊びが出来るような場所があるといいと思います。(年齢不明性別不明:居住地不明)

(4) 自由記述から見た生涯学習センター建設に係る住民の考え方について

問 25 の自由記述には、様々な観点から住民の意見が述べられている。ここではこれまで取り上げていない意見から、以下に観点ごとにまとめておく。

建て替えを市街地の活性化に繋げてほしいとの意見が 3 件あった。

- ・間違いなく高齢化は進むので中心市街地活性化を含めて町民が出歩く機会を増やす試み。エントランスホールで大型モニターで中継放送（相撲、野球、サッカー、演劇 etc）を見て市街地での買い物の機会を増やすなど。（60 代男：美原地区）
- ・生涯学習センター建設は中心市街地の再開発の最後のチャンスだと思うので思い切った計画を作成し進んで欲しいです。（30 代男：別海地区）
- ・超高齢化社会到来を控え、車のない高齢者の利用を考慮し市街地に建設、駐車場は一部立体（高齢者は青空）。市街地空洞化の回避、活性化を図ることができる。市街地整備計画と併行して進めるべき。（50 代女：別海地区）

名称についての意見が 3 件あった。

- ・仮称生涯学習センターではなく施設名中央公民館が良い。生涯学習センターは変だよ！！（60 代男：別海地区）
- ・生涯学習センターという名称はもはやありきたりなので町民から公募してみては？お年寄りの方にも親しめる名称で（40 代女：別海地区）
- ・名称は、明るく呼びやすい名前（50 代女：豊原地区）

運営面（合理化・民間委託）についての意見が 3 件あった。

- ・別海町内に 3 つの公民館は必要ない。車社会へシフトしている時代です。統一するなどの工夫をしてはいかがですか？（60 代女：別海地区）
- ・三地区（西、東、中央）と分散している機能を中央 1 つに集約して行事を開ける機能を備えた施設を設け、今後の町の進むべき方向性を形として示し、町民の意識付けの象徴としてほしい。（50 代男：別海地区）
- ・維持管理を民間に委託できるように！（50 代男：別海地区）

デザインについての意見が 3 件あった。

- ・設計、デザインは重要だと思う。（20 代男：西春別駅前地区）
- ・奇抜な外観は必要ないので、シンプルに。（40 代男：別海地区）
- ・公民館を利用する人が、街に流れるように街中に建ててほしい。デザインより機能重視でお願いします。コンパクトで明るい施設がいいです。（50 代女：別海地区）

施設・設備などのハード面ではなく、事業などのソフト面についての意見が 10 件あった。

- ・運用する人材育成が鍵になる。(60 代男:別海地区)
- ・催し物が少ないと思う。建替えを検討しているのであれば、もっと有名人などの公演やイベントができるようなホールをつくり、若い人が楽しめる催しを増やすべきだと思う。(20 代男:別海地区)
- ・しるべつと連携をとれるようにして大きなコンサートはそちらにお願いして中小のようなコンサートやイベントができる規模を充実させてほしいです。スタッフが配置できる充実へ。箱物優先ではなく人が活発に利用できるシステムづくりを願っています。(50 代女:豊原地区)
- ・建替えるなら計画的な運営をしてほしい。町民に使いやすくひらけたものにしてほしい。文化的催し物を増やしてほしい。演劇・コンサート等(40 代女:西春別駅前地区)
- ・建設するなら、大ホールでイベントができる様検討していただきたい。(30 代男:別海地区)
- ・建替えた後、コンサートや展示会、講演会など文化的なイベントをたくさん計画して行ってほしいです。(30 代女:別海地区)
- ・展示物が多い事。各種趣味の教室を望みます。庭木、花木の挿し木接木等、木工では戸材利用で出来る物等…庭の造り方。(60 代男:中西別地区)
- ・町のサークル活動が少ない為料理教室やスポーツや文化祭を増やしてほしい。(30 代女:別海地区)
- ・サークルの人たちが作るばかりでなく、何かいいイベントを企画してもらいたい。(コンサート、講演)(60 代女:本別海地区)
- ・中央公民館の会場利用についてですが、予約順番というより予約する人、団体によって先に予約していても変えられることがあります。選挙などはしかたないと思いますがちゃんと予約して自分勝手な理由で日にちを変えられるのはおかしいと思います。(管理人の教育をしっかりとしてほしい)町民が平等に使えないのなら公民館はいらない。(30 代女:中春別地区)

(5) まとめ

住民アンケートの結果をまとめると、以下のようになる。

1. 住民の半数以上は中央公民館の建て替えを望んでおり、市街地の高齢者にその傾向が強い。また、この建設により、駐車場問題やトイレ問題が解決されることへの期待も強い。とりわけ広い駐車場は、建て替える上で必須条件ともいえる。
2. 建て替えを望んでいる人も、現在の町や国の財政状況や過去のハコモノ行政への批判から、維持費・建設費が高額にならないように、また既存施設を有効に活用できる形を望んでいる。有効活用すべき施設としては、マルチメディア館とぷらとを挙げた人が多かった。
3. 建設を望まない人のうち、そもそも必要ないとする全否定派は少なく、高額な建設費・維持費がかかるための反対、もしくはこれまで作られた施設を活用すべきとの意見が多かった。
4. 若年層と中央公民館管轄地域以外の住民は、利用頻度が低いこともあってか、態度を保留している人が多い。また 3 公民館から離れているところでは、3 割の人が建設に反対している地区も複数ある。
5. 建物自体の規模としては現在の中央公民館よりやや大きい規模を望んでいるが、大ホールの収容人員は将来的な人口減を想定して、あるいは中標津のしるべつとがあるため、200

から 300 人とやや少なめの数字を挙げた人が多かった。

6. 建設場所は病院跡地・ぷらと周辺など市街地を望む声が大きく、特に別海地区に住む高齢者は市街地への建設希望が強いことが分かる。しかし西部地区では、病院跡地を希望する割合が別海地区と比べるとかなり低くなっている。
7. 施設・設備については、保育室の設置が世代を問わずに強く求められていることがわかる。加工体験施設があるにもかかわらず、調理室の要求は高く、また町民ギャラリーを兼ねた展示スペースも多くの人に要望されている。木工・陶芸などの専門室の要望は、若年層では低い。
8. 災害時の避難所としての機能を求める声も少なからずある。
9. 建て替えを機に、ソフト面である公民館活動の更なる充実を求める意見も多かった。

3-2. (仮称) 別海町生涯学習センター建設基本構想策定委員会

(1) 設置要綱

(仮称) 別海町生涯学習センター建設基本構想策定委員会設置要綱

(平成 25 年 11 月 13 日教育長決裁)

(設置)

第 1 条 (仮称) 別海町生涯学習センター（以下「学習センター」という。）の建設に関して必要な事項を調査検討し、学習センターの建設に向けた基本的な考えを打ち出すため、(仮称) 別海町生涯学習センター建設基本構想策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は次の事項を所掌する。

(1) 学習センターの基本構想の策定に関すること。

(2) その他学習センター建設に必要と思われる事項に関すること。

(組織等)

第 3 条 委員会の委員は 15 名以内の委員をもって構成する。

2 委員は、公民館運営審議会委員、自治会関係者、文化団体関係者、老人クラブ関係者、家庭教育関係者、学識経験者及び自治推進委員の中から教育委員会が委嘱する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、基本構想を策定した日をもって終わるものとする。

2 委員に欠員が生じた場合は、教育委員会が選考した委員を後任に充てるものとする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出するものとする。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議は委員長が必要に応じ招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 会議は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

4 委員長は必要があると認めるときは、委員以外の者の出席又は資料の提出を求めることができる。

5 委員会は、原則公開で行うものとする。ただし、決定により一部非公開とすることができる。

6 委員会の記録は、公開するものとする。ただし、決定により一部非公開とすることができる。

(報告)

第 7 条 委員長は必要に応じて、委員会の検討経過及び結果を教育委員会に報告する。

(費用弁償)

第 8 条 委員の費用弁償は、証人等の実費弁償に関する条例（平成 3 年別海町条例第

21 号) の規程により支給する。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、生涯学習課及び中央公民館に置く。

(その他)

第 10 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成 25 年 12 月 1 日から施行する。

2 この要綱は、第 4 条第 1 項に規定する日にその効力を失う。

(2) 委員名簿

氏名	所属等	摘要
曾根 興三	別海連合町内会 会長	自治会関係者
佐藤 博子	別海連合町内会 女性部長	〃
米谷 啓	元別海町教育委員会教育部長	学識経験者
右代 華奈子	生涯学習推進アドバイザー	家庭教育関係者
高橋 智美	自治推進委員	自治推進委員
山崎 宏	別海町公民館運営審議会委員長	公民館運営審議会委員
青野 芳樹	別海町公民館運営審議会 委員	〃
島崎 裕	別海町文化連盟 会長	文化団体関係者
武田 隆	別海町文化連盟副会長 西春別駅前地域文化協会 会長	〃
山本 瑞穂	コミュニティー広場「ノイエ」事務局長	〃
丹羽 博文	中西別草原太鼓保存会 代表	〃
小平 明美	合唱サークル「グリーンエコー」代表	〃
熊坂 修一	本別酪農太鼓保存会 代表	〃
宮川 比呂巳	本別海文化協会 会長	〃
今西 茂	別海中央豊生クラブ	老人クラブ関係者

(3) 委員会の経過

第1回委員会

平成25年12月17日 基本構想の検討

第2回委員会

平成26年1月24日 中標津町総合文化会館視察

第3回委員会

平成26年2月10日 基本構想の検討

第4回委員会

平成26年3月3日 清里町生涯学習総合センター及び美幌町民会館視察

第5回委員会

平成26年3月12日 基本構想の検討

第6回委員会

平成26年3月28日 基本構想の検討

第7回委員会

平成26年4月15日 基本構想の検討・基本構想の答申